

# 社報 (株)南信サービス 2023年度環境活動報告

2024年7月発行 《編集・発行元》(株)南信サービス | SO事務局

## 環境目標の取組み結果

1. 油水分離槽清掃作業し忘れ対策（担当部署：営業部）

【目的】2023年度までに油水分離槽清掃の指示書を全箇所作成することで作業し忘れを無くす。

【目標】2023年度は未作成指示書の残り40%分を作成（全体で100%作成）する。

営業部では、油水分離槽清掃の作業手順書を今年度で全箇所作成という目標で取組みました。作業手順書を作成しておくことで、お客様も作業ヶ所の把握が出来るため役立っており、もちろん作業に行く者は作業内容がよくわかり、間違えたりせず自信を持って作業が出来ます。

今年で油水分離槽清掃に関しては全て作業手順書を作成してしまうということで残り231件ありましたが、月だいたい20件ずつ作成していったので最後の3月には余裕を持って作成し終えることが出来ました。

これで油水分離槽清掃の作業手順書は全て揃いましたが、他にも作業があるため、来年度からは水溶性廃油回収作業の作業手順書を作成していきます。また、運転手の労働災害対策も兼ねて、この作業手順書通りに作業すれば労災を起こさないというものにしたいと思っています。

2. 運転手の労働災害対策（担当部署：業務部車輜課）

【目的】労働災害の要因を無くすことで労働環境の改善を目指す。

【目標】槽内清掃作業における労働災害の要因を再度上げ直し、対策の取られていないものすべてに対策する。

業務部車輜課の労働災害が毎年発生してしまっているため、今年は槽内清掃に絞り（一番危険度が高いため）再検証するという事で取り組みを行いました。

再検証を行った結果ですが、開口部を養生しない場合は注意喚起が必要になりますが、その処置がされていないことがあったことや、ホースや電源コードなどが乱雑に地面に這っていて躓き転倒の恐れがあるということがありました。それを踏まえてKY活動や安全パトロールを年間通じて実施し、安全目標を毎回立てて意識を高めることで安全に作業を行うことが出来ました。

来年度は着眼点を変え、営業部で取り組んでいる作業手順書に安全な作業方法を組み込むことで、労働災害を無くそうという取り組みを行っています。

### 3. 車輛のコスト対策（担当部署：業務部車輛課）

【目的】コストの高い車輛の問題点を解決することで、コスト削減を目指す。

【目標】コストの高い洗浄車他の車輛に対し改善策を実施する。

昨年度から取組みしている車輛のコスト対策ですが、昨年はダンプ車輛の対策を検討しましたが、今年は洗浄車他の車種に絞り込んで対策を検討しました。

洗浄車は現在2台ありますが、その2台のコストを比較して過去4年間の整備代を比較しました。当然新しい車の方がコストはかかりませんが、今後年数が経てば古い車の方はどんどんコストがかかるようになることが容易に想像が付き、部品も生産終了となっているものが出てきていることから、車輛自体の維持も困難になっていくと思われます。コストを考えると新車を導入して古い車を出すべきではないかということになりました。

新車の架装メーカーも比較検討を行いました。2社検討しましたが、片方のメーカーの以前使用していたもののほうがいろんな面で優れており、当社で希望するものに限りなく近いものが出来上がるということから、こちらのメーカーに決定しました。

ところが見積依頼をしたところ、特殊車両ということで時間がかかりかかると、年度内に見積が出なかったため引き続きやっています。

また、来年度は吸引車の改善策を検討していく予定です。どの車種にしても1台1台が高い車なので、コスト削減が出来るようやっています。

### 4. リサイクル施設の老朽化対策（担当部署：業務部施設課）

【目的】リサイクル施設の老朽化対策を行うことで施設の稼働日数を延ばし、また低下してきた処理能力の回復を目指す。

【目標】今年度はリサイクル施設の老朽化対策を継続しつつ、処理能力を回復させる方法を検討する。

昨年より取組み始めたリサイクル施設の老朽化対策ですが、部品の交換などを主に実施しています。

また、処理能力の回復方法としては設備の稼働時間以外に着目し、機械トラブルによる停止、ヒューマンエラーによる停止、運転方法による供給停止の時間を減らすことにより稼働時間を延ばすことで処理時間を増やす方向で計画を検討いたしました。具体的には機械トラブルには引き続き事前の部品交換等を、ヒューマンエラーにはトラブル復旧の手順見直しを、運転方法には方法の見直しを計画して来年度やっています。

#### 5. 工場の臭気対策（担当部署：業務部施設課）

【目的】工場内の臭気要因を全て特定し、臭気苦情0を目指す。

【目標】工場内の臭気要因を再度上げ直し、対策の取られていないものすべてに対策をする。

工場内の臭気要因を以前上げて対策を取ったことがありましたが、その後蒸留濃縮設備等が更新追加されており、年数も経っていることから、もう一度臭気要因を特定してみることにしました。実際臭気要因を特定し直してみたところかなりあり、当初の予定ではとても時間が足りなかったため、計画を変更して時間をかけて検証しました。

検証した結果としては、新設脱臭機の検討及び既存の脱臭機の見直しが必要と思われる箇所が出てきました。こちらは来年度以降の目標で取り組みを継続していきたいと思えます。

また硫化水素の発生と希硫酸の添加率の因果関係を調べましたが、希硫酸の添加量が多くても硫化水素が発生していなかったりして因果関係は認められませんでした。

それと、嫌気性汚泥を無くすことを検討したが、現在施設の中には担体曝気槽があり、担体の中の深い部分はどうしても嫌気性汚泥となってしまうということで完全に無くすことは難しいという結論になりました。

来年度の主な取り組みとしては、今年度臭気要因を特定し直しものの検証した結果を踏まえての対策の方向性を決定することにしました。

#### 6. 環境保全意識の向上（担当部署：共通）

【目的】SDGsへの取り組みにより、身近な社会問題の解決を目指す。

【目標】将来の当社のビジョンを元に当社で出来ることをまとめて一覧にする。

今年度当初はSDGsの取り組みとして実現可能な目標を決定するつもりでした。ただ物価高等により先が読みにくいということで中長期目標の決定が決算後となり、またそれに対しての社員アンケートをじっくり検討してもらうため当初の倍の期間を設けたことで予定通りには進みませんでした。

今年度は当社で出来ることを一覧にすることは出来ましたが、来年度はこれらの課題やリスクなどを検討していきたいです。





## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び

## 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

■大気汚染防止法	遵守しています
■水質汚濁防止法	遵守しています
■廃棄物処理法	廃車あり 許可更新あり 産廃収集運搬（静岡県）
■消防法	遵守しています
■ダイオキシン類対策特措法	遵守しています
■P R T R法	遵守しています
■毒劇物法	遵守しています
■省エネ法	該当…報告書提出（廃油の焼却が該当したため）
■温対法	該当…報告書提出（廃棄物の原燃料使用のCO2）
■肥料取締法	遵守しています
■放射性物質汚染対策特措法	遵守しています
■河川法	遵守しています
■労働安全衛生法	遵守しています
■環境配慮契約法	適合しています
■地元協定	適合しています
■その他家電リサイクル法など	順守しています

2023年度遵守状況の評価の結果、遵守されてきました。  
違反、訴訟等もありませんでした。

## 代表者による全体の評価と見直し

リサイクル施設に限らず若い人を確保して教育していきたいが  
適材適所でやっていく。昨年検討していると言っていた発電の関  
係だが、太陽光は1000㎡確保できないとマイナスになってしまう  
ため保留となっており、その他の  
発電も技術の進歩がないと導入が  
難しい状況となっている。環境に  
関して燃料消費を抑えられる方法  
を検討して、SDGsも絡めて進めて  
いてもらいたい。



# 環境方針

当社は、廃棄物の収集運搬・中間処理事業活動を通して、環境パフォーマンスを向上させるために環境マネジメントシステムの継続的改善を行い、環境汚染予防及び関連するその他の環境保護に取り組みます。

また、関係する環境関連法規、条例、地元協議及び同意するその他の要求事項を遵守します。

そして、当社の中・長期目標を考慮に入れつつ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目標を設け、その目標達成に向けた活動を定期的に見直しながら推進します。

2024年2月21日 代表取締役 竹村 博文

## ISO組織図

